

単元構想表

学 → 1 2 3 領域 → A B C
 言語活動 → ア イ ウ 他 指導事項

第3学年) 単元名：「多角的に分析して書こう」

指導者：瑞浪南中学校 教諭 山崎 雅

All

言語活動例		学年	領域	記号	関心のある事柄について批評するなど、自分の考えを書く活動。						
指導事項		3年	B領域	ア	言語活動	重点化	学習活動	評価規準	留意点 他	時	
3年	B領域	ア	瑞浪市のまちづくりに対する意見書を書こう	導入（学習への見通し）			・本単元の学習の流れ（言語活動）や本単元で付けたい資質・能力について知る。 ・市役所の市民協働課の方に、これからを担う若者として、「存続していくためのまちづくり」について、現実を踏まえた提言をするということを確認する。	・批評文とはどのようなものなのかを理解し、学習の見直しもっている。	(指) 既習教材である社会科の学習での地方自治、総合的な学習の時間での瑞浪市に対する提言、1学期に行った「瑞浪市に対してできることを合意形成に向けて話し合おう」も単元を想起させる。	①	
				題材の設定、情報の収集、内容の検討			・瑞浪市の「まちづくり基本条例」を読みながら、自分が意見する題材を決定する。 ・問いや考えを吟味しながら、題材について多角的に分析を深める。	・自分の伝えたいことに応じた題材を選択している。 ・問いや考えを吟味しながら題材についての分析を深めている。	(教) 「まちづくり基本条例」を準備する。 (指) 資料の妥当性や信頼性について確認する。	② ③	
				構成の検討			・意見と根拠の関係に留意しながら説得力のある論理の展開を考えた り、引用する資料を検討したりしながら構成を考える。	・意見と根拠の関係に留意しながら、説得力のある論理の展開を考えている。(シートの記述)	(指) 既習の文章構成から、今回の自分の主張を伝えるのにふさわしい構成を選択させる。	④	
				考えの形成、記述			◎	・構成に沿って、説得力のある言葉かどうかや自分の考えを支えるのにふさわしい資料なのかを吟味しながら、下書きを書く。	・自分の意見を支える根拠となる資料を引用するなどして、説得力のある下書きを書いている。(下書き)	(評) 判断や評価の根拠が明確になっているかどうか、資料を適切に引用できているかを文章の内容から評価する。	④ ⑤
				推敲				・伝えたい内容に適している表現や構成になっているかを、自分自身と仲間との交流で確認し、推敲する。	・伝えたい内容に適している表現や構成になっているかを、推敲している。(Googleドキュメント)	(指) 推敲シートを活用しながら確認する。 (評) Googleドキュメントの比較機能を用いて、修正箇所から評価を行う。	
				共有				・意見書を読み合い、批評に有効な言葉や説得力を高める工夫について、仲間と共有する。	・仲間の文章から、批評に有効な言葉や説得力を高める工夫について、学んでいる。(Googleスプレッドシート)	(評) ワークシートへの記述内容を中心に評価する。	⑥
				まとめ（学習の振り返り）				・この単元で身に付けた力について「振り返りシート」に記入する。		(指) 単元全体を通しての振り返りを行う。	
関連する[知識及び技能] (1)言葉の特徴や使い方に関する事項 (2)情報の扱い方に関する事項 (3)我が国の言語文化に関する事項		3年	(1)	ウ	文や文章		話や文章の種類とその特徴について理解を深めること。	・資料やデータなど明確な根拠をもって、意見書を書くことができる。 (記述の確認)	(評) 意見文や評論文等の既習の文種と批評文の違いを明確にする。	①	
		3年	(2)	イ	情報の整理		情報の信頼性の確かめ方について理解し使うこと。	・情報の信頼性を十分に吟味し、正しく使っている。	(評) 出典や発信した年を確認したり、同じ事柄に対する複数の情報源から情報を収集したりしているかを確認して評価する。	③ ④	
学びに向かう力、人間性等に関する評価 (主体的に学習に取り組む態度)							・納得のいく表現の仕方や資料の引用を考えたり見直しをもって意見書を書くとしている。	(評) 単元全体を通して、学習活動を観察して評価する。			

※「留意点 他」の記号…(指)指導に当たっての留意点、(評)評価に対しての留意点、(他)他の学習活動のアイデア、(教)教材・教具の工夫